

平成21年3月
 富士電機システムズ株式会社
 オートメーション事業本部
 コントローラ統括部

MICREX-SX SPHシリーズ OPCN-1 インタフェースモジュール機能拡張のお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素より、富士プログラマブルコントローラをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
 さて、MICREX-SX SPHシリーズにおいて、OPCN-1 インタフェースモジュールの機能拡張を実施しましたので、ご案内いたします。

敬具

- 記 -

1. 変更内容

項目	対象形式	機能拡張項目
ファームウェア変更	MICREX-SX SPH OPCN-1 インタフェースモジュール NP1L-RJ1	(1)故障モジュールの表示通知機能 OPCN-1 インタフェースモジュールが実装されているベースボード上にて搭載モジュールが故障した場合、故障モジュールをLEDで通知する機能を追加しました。

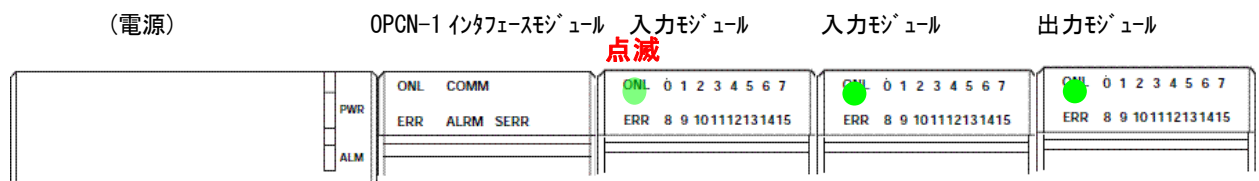
2. 変更に伴う注意事項

- (1) 2009年3月生産分から変更しました。
- (2) 対応バージョン
 ファームウェアバージョン「V33」以降にて対応します。
 ハードウェアバージョンは、「V21」で変更はありません。
- (3) 価格、および形式は、現行製品と同一で、変更はありません。

3. 機能拡張

(1) 故障モジュールの通知

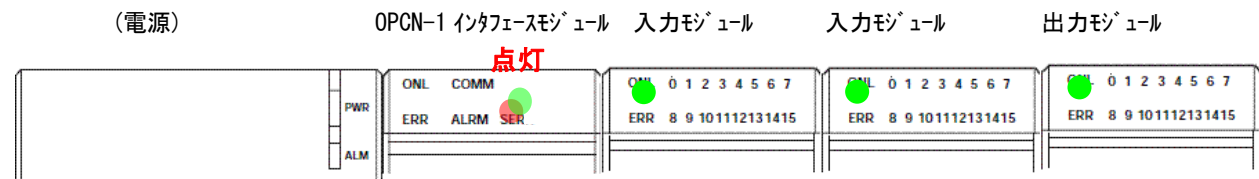
ONL点滅で異常モジュールを通知します。(例：1番目の入力モジュールが異常の場合)



(2) OPCN-1 インタフェースモジュールでの通知

“SERR” LEDにて何番目のモジュールが異常であることを通知します。

なお、複数のモジュールで異常を検出した場合は、最初に検出した1台を通知します。



“SERR”LEDの点灯例 (SERR “LEDは本来、設定異常で使用)

1番目のモジュールが異常 = 0.5秒 ON --- 1.5秒 OFF ---

2番目のモジュールが異常 = 0.5秒 ON / 0.5秒 OFF / 0.5秒 ON --- 1.5秒 OFF ---

以上